

# ももとせ

第418号

29年度6月

中野区立桃園小学校

## 「桃園小学校の歴史に思うこと」

校長 田中 憲治

先週の土曜日には、天候に恵まれて予定通りに運動会を開催することができました。保護者の皆様、地域の皆様のご協力があり、無事に終えることができ心から感謝いたします。

さて、4月20日は、桃園小学校の142回目の誕生日でした。140周年を迎えて、大々的にお祝いをし、明治8年にできた中野区で一番古い学校であることなどを改めて知る機会がありました。去年はあまり考えなかったのですが、運動会はいつから始まったのだろう、校歌や校章はいつできたのだろうなど、統合再編を前に疑問に思うことがありました。よくご存じの方もいらっしゃると思いますが、100周年の「桃園學」を紐解いてみました。皆さんはどんな思いがありますか。

まず、運動会は明治20年頃に初めて開かれたと記載されています。児童数は190名となり、当時は着物・袴姿でしたが、洋服で運動会をすると決めたので、持っていない人のほとんどは洋服を着せるのも苦労したと記されています。場所は歩いて飛鳥山まで行ったようです。すると、今年は120回目ぐらいということになりますが、きっと戦争の頃は開催されていないので、正確に第何回の運動会になるのか分からないので、プログラムにも回数は記載されていません。この頃の運動会の種目については記載されていませんが、まだ体操も定着していなかった当時どんな運動会だったのでしょうか。

雨天体操場が落成したのは、大正4年10月のことでした。中野区の予算の15%の費用がかかったそうです。同時にこの年の8月には図書館が完成したとも書かれています。

そして、大正から昭和にかけて、2400名位の児童数を数え、特に体育活動が盛んで、全国的に活躍し、応援歌もあったようです。

明治8年、開校当時の児童数は97名、大正元年は1456名、昭和元年には2216名と増加していきました。大正12年の関東大震災にも、新しい校舎は被害がなく授業が進められたようです。

次に、校旗や帽子についている徽章のデザインは、大正の始めに改訂されたようです。旭日（太陽）は徳育を表し、雪輪（雪）は知育（清廉潔白）を表し、桃（体）は体育を表しているそうです。どこの学校でも校章に込められている子供たちへの思いは、保護者や地域の人の情熱によって作られ守られてきたことを強く感じます。

もう一つ校歌ですが、創立50周年記念祝賀会で制定されたとあります。大正13年のことです。現在も残る「校訓5つ」の下に、「力強く伸びよ」と記され、校歌の終盤3回歌われる「伸びよ 伸びよ 力強く」になっています。この校訓もこのときあたりから定められたようで、「知育」「訓育」「體育」を教育方針としていたという記述がありました。戦後、この5つは「自主」「責任」「協力」「品格」「合理性」というように変えられたようですが、子供への願いは変わっていないと思いました。

5月学校公開参加ありがとうございました。引き渡し訓練でしたが、当日雨のため室内での引き渡しとなりました。校門を広く開けていなくてご迷惑をおかけいたしました。アンケートに少しお答えすると、もし、本当に地震があった場合、校舎内には安全点検が終わるまで入れなくなります。また、学童などに行くことはありません。保護者が学校に迎えに来るまでお預かりします。学童に行った後の地震ならば、学童の管轄になります。放送や電話等も使用できなくなることも考えられますので、周りの状況をよく判断しての行動をお願いいたします。

6月はセーフティー教室です。ご来校をお待ちしています。

## 今月のめあて

【生活】後かたづけをしっかりとやろう 【保健】夏を元気に過ごそう

【給食】衛生に気を付けて食事をしよう 【安全】夏休みを安全に過ごそう

